



BOM for Windows Ver.6.0 SR2  
ファイルサーバー監視  
ユーザーズ マニュアル

## 免責事項

本書に記載された情報は、予告無しに変更される場合があります。セイ・テクノロジーズ株式会社は、本書に関していかなる種類の保証（商用性および特定の目的への適合性の黙示の保証を含みますが、これに限定されません）もいたしません。

セイ・テクノロジーズ株式会社は、本書に含まれた誤謬に関する責任や、本書の提供、履行および使用に関して偶発的または間接的に起こる損害に対して、責任を負わないものとします。

## 著作権

本書のいかなる部分も、セイ・テクノロジーズ株式会社からの文書による事前の許可なしには、形態または手段を問わず決して複製・配布してはなりません。

Copyright 2018 SAY Technologies, Inc.

本ユーザーズマニュアルに記載されている BOM はセイ・テクノロジーズ株式会社の登録商標です。Microsoft, Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。その他会社名、製品名およびサービス名は各社の商標または登録商標です。

なお、本文および図表中では、「™ (Trademark)」、「® (Registered Trademark)」は明記しておりません。

## ■ 目次

本ユーザーズマニュアルについて .....	1
製品表記 .....	1
使用方法 .....	1
表記規則 .....	1
第 1 章 動作環境 .....	2
1.1 動作環境 .....	2
第 2 章 ファイルサーバー監視 .....	3
2.1 ファイルサーバー監視の設定方法について .....	3
2.1.1 注意点 .....	3
2.1.2 テンプレートの詳細について .....	3
2.1.3 ファイルサーバー 監視テンプレート適用方法 .....	4
2.1.4 各監視項目で設定できる引数について .....	6
2.2 ファイルサーバー監視で出力したログの確認方法について .....	6
2.2.1 ファイルサーバー監視ビューアーについて .....	6

## 本ユーザーズマニュアルについて

### 製品表記

本ユーザーズマニュアルでは、以下の製品について略称を使用しております。

正式名称	本マニュアルでの呼称(略称)
BOM for Windows Ver.6.0	BOM 6.0
BOM for Windows Ver.6.0 SR2	BOM 6.0 SR2

### 使用方法

本ユーザーズマニュアルには、BOM を使用する際に必要となる詳細な情報と手順が記載されています。

本ユーザーズマニュアルを使用するには、Microsoft Windows オペレーティングシステムについての実的な知識と、BOM 6.0 の基本的な知識が必要です。

### 表記規則

本ユーザーズマニュアルでは、以下の表記規則を使用しています。

表記	説明
‘参照先’	シングルクォート内(‘と’)は本マニュアル内、あるいは別のマニュアルの参照を示します。
“ラベル”	ダブルクォート内(“と”)はラベル名を示します。
「タブ」	鉤括弧内(「と」)はプロパティシート等でのタブ名を示します。
[ボタン]	角括弧内([と])はボタン名を示します。
<キー>	山括弧(不等号記号)内(<と>)はキーボード入力を示します。
(補足説明)	丸括弧内(「(」と「)」)は補足説明を示します。

## 第1章 動作環境

### 1.1 動作環境

#### A. ファイルサーバー監視テンプレートの動作要件

ファイルサーバー監視テンプレートを導入する監視元コンピューターは、Windows Server ベースのコンピューターで動作いたします。  
監視元コンピューターについては、BOM 6.0 インストールマニュアルの「1.2 BOM のシステム要件」をご確認ください。

#### B. ファイルサーバー監視ビューアーの動作要件

ファイルサーバー監視ビューアーは、以下の OS で動作いたします。

サポート OS ※1		
バージョン	エディション	サービスパック
Windows Server 2008 ※2	Standard Edition (32-bit / 64-bit)	SP2
	Enterprise Edition (32-bit / 64-bit)	
Windows Server 2008 R2 ※2	Standard Edition	SP1
	Enterprise Edition	
Windows Server 2012 ※2	Standard Edition	Update なし
	Datacenter Edition	
Windows Server 2012 R2 ※2	Standard Edition	Update 1
	Datacenter Edition	

※1 OS への対応検証はサービスパック単位となっており、個別パッチ (Hotfix, QFE など) 毎の検証は行っておりません。

ただし、個別パッチがファイルサーバー監視ビューアーの動作に影響を与える場合は、[弊社の Web サイト](#)にて情報を提供いたします。

※2 Server Core へファイルサーバー監視ビューアーはインストールできません。

## 第2章 ファイルサーバー監視

### 2.1 ファイルサーバー監視の設定方法について

ファイルサーバー監視はファイルサーバー監視用テンプレートをインポートし設定することにより動作します。

#### 2.1.1 注意点





本テンプレートは、以下の条件を満たしている場合にご利用頂けます。

- BOM 6.0 SR2 の動作要件を満たし、正常にインストールされ動作していること。
- 代理監視インスタンスでは本テンプレートを使用することができません。使用できるのはローカル監視インスタンスのみです。

#### 2.1.2 テンプレートの詳細について

本テンプレートを、BOM 6.0 SR2 で動作する Windows 監視インスタンスにインポートし、設定することにより、ファイルサーバー向け監視を簡単に設定できます

・本テンプレートには、以下の監視項目が含まれます。

監視グループ/監視項目名	初期値
 ファイルサーバー 監視	有効
 重複ファイル監視	有効
 未アクセスファイル監視	有効
 Windows Update 監視	有効

※本テンプレートに含まれる各監視項目は初期値で毎週日曜 0 時 00 分に動作する様設定されています。

変更する場合には、各監視項目内の開始時刻を任意で変更してください。

#### A. 各監視項目の役割について

##### 1. 重複ファイル監視

監視対象の論理ドライブに対し、重複しているファイル名、ファイル属性(システムファイル、隠し属性)を基に監視を行います。

##### 2. 未アクセスファイル監視

監視対象の論理ドライブに対し、最終アクセス日が 6 か月以上前のファイルを対象に監視を行います。

##### 3. Windows Update 監視

Windows Update の適用状況を監視します。

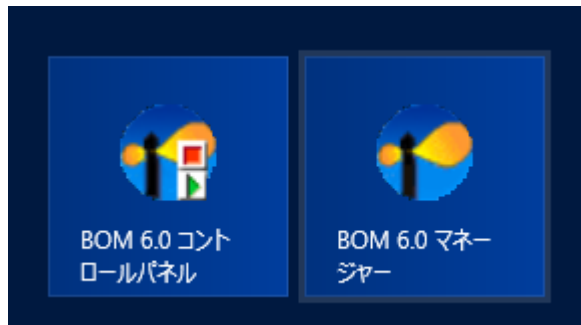
### 2.1.3 ファイルサーバー 監視テンプレート適用方法

テンプレートの導入方法は、下記に案内する方法で行うことが可能です。

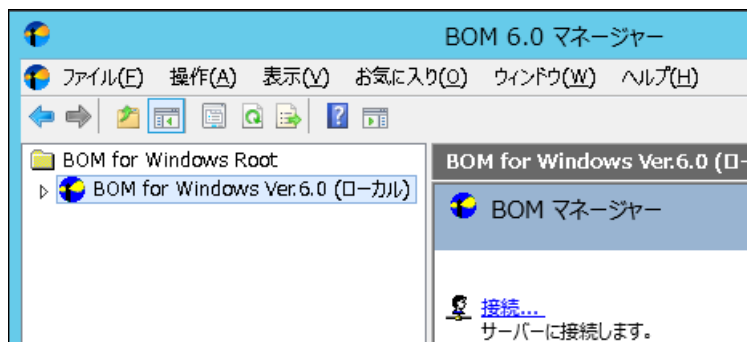
#### A. ファイルサーバー監視項目の作成

ファイルサーバー監視項目を作成する手順は以下の通りです。

1. スタートメニューまたはスタート画面より、“BOM 6.0 マネージャー”を選択します



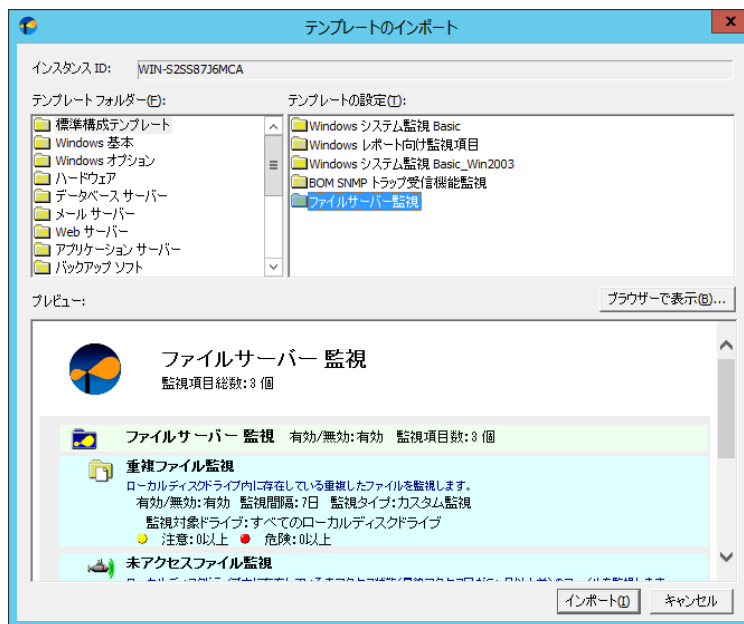
2. BOM マネージャーにて、“接続”をクリックし、監視コンピューターに接続します



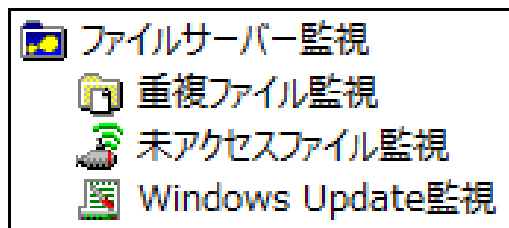
3. スコープペインにて、ファイルサーバー監視をしたい Windows 監視インスタンスを選択し、右クリックメニューから“テンプレートのインポート”をクリックします



4. “テンプレートフォルダー”から、“標準構成テンプレート”、“テンプレートの設定”から、“ファイルサーバー監視”をクリックします



5. [インポート]ボタンをクリックし、テンプレートをインポートします
6. スcopeペインにて監視グループ“ファイルサーバー監視”が作成されたことを確認します



7. BOM の監視設定の変更方法やテンプレートの利用方法などの詳細については、‘BOM for Windows Ver.6.0 ユーザーズ マニュアル’をご参照ください。



## 2.1.4 各監視項目で設定できる引数について

各監視項目は、各種引数をあらかじめ入力してあります。引数については、変更可能なものが一部ありますので、本章では変更可能な引数部分についてご案内いたします。

なお、その他引数については変更ができません。

また変更された場合にはサポート対象外となりますのでご注意ください。

### A. 各監視項目の役割について

#### 1. 重複ファイル監視及び、未アクセスファイル監視

- path:path ... 検索対象のパス(省略時、全固定ドライブ)
- r:str ... 除外する文字列。文字列は正規表現で指定します。
- s ... システム属性のフォルダー・ファイルを調査対象とします。
- h ... 隠し属性のフォルダー・ファイルを調査対象とします。
- e ... 空ファイルを調査対象とします。

#### 2. Windows Update 監視

変更できる引数はありません。

## 2.2 ファイルサーバー監視で出力したログの確認方法について

ファイルサーバー監視で監視した結果は別途用意してありますビューアーを使用することにより確認が可能です。

なお、ログファイルは csv 形式で以下のアドレスに格納されています。

アドレス:<(インストールパス)¥SAY Technologies¥BOMW6¥Temp >

### 2.2.1 ファイルサーバー監視ビューアーについて

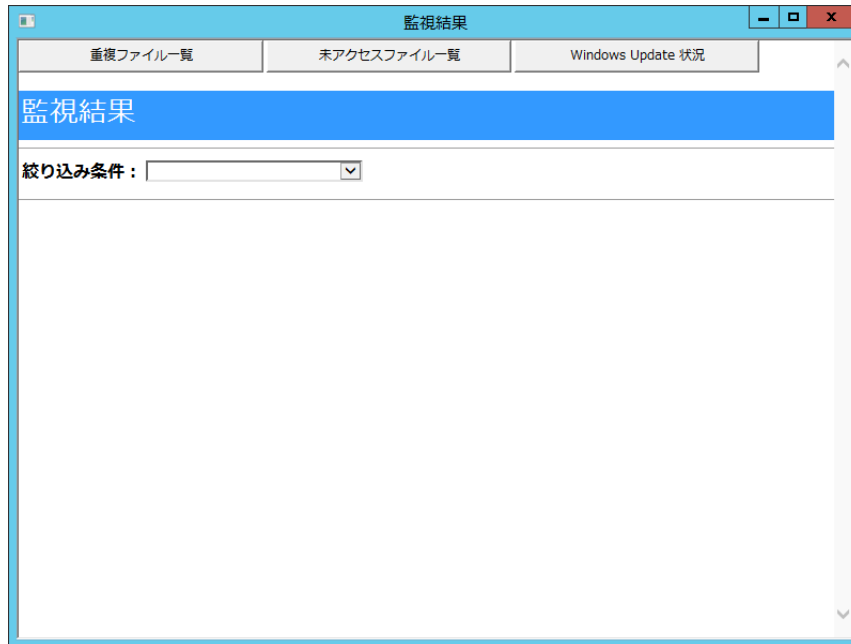
#### A. ファイルサーバー監視ビューアーの起動方法

ファイルサーバー監視ビューアーを起動する手順は以下の通りです。

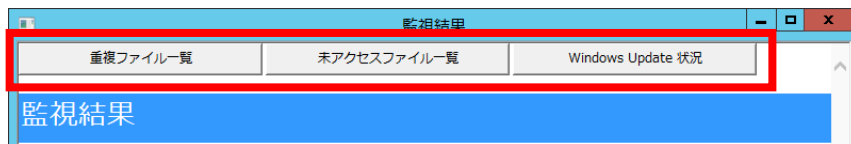
1. スタートメニューまたはスタート画面より、“BOM 6.0 ファイルサーバー監視ビューアー”を選択し、起動します。



2. 監視結果ウィンドウが開きます。



3. 確認したいログを、上部ボタン(重複ファイル一覧や、未アクセスファイル一覧等)から選択します。



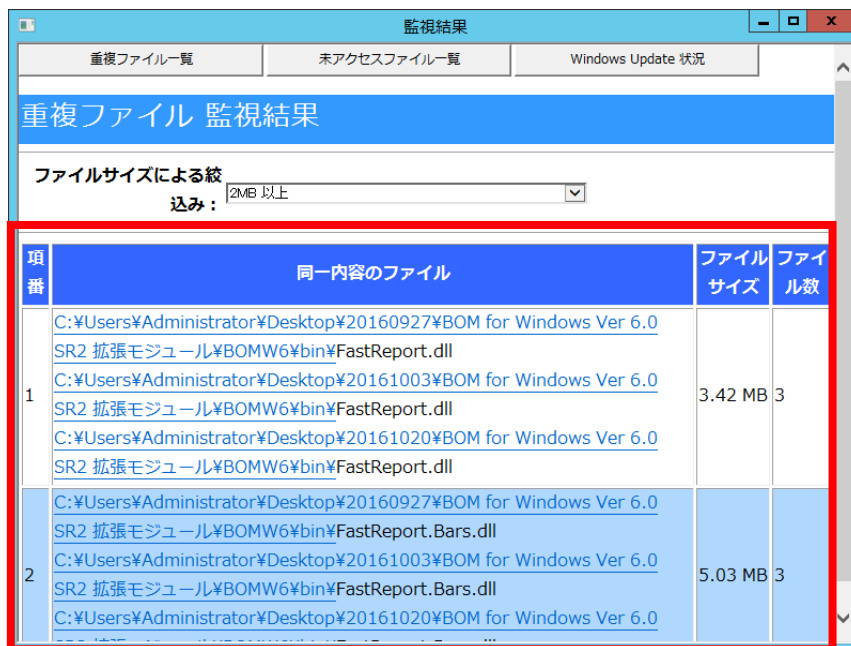
4. 該当するログが画面に出力されます。



5. 絞り込みを行いたい場合には、プルダウンメニューから絞り込みたい条件を選択します。



6. 選択後、画面下部に結果が出力されます。



BOM Ver.6.0 SR2 ファイルサーバー監視  
ユーザズ マニュアル

---

2018 年 10 月 31 日 初版  
著者 セイ・テクノロジーズ株式会社  
発行者 セイ・テクノロジーズ株式会社  
発行 セイ・テクノロジーズ株式会社  
バージョン Ver.6.0.20.0

Copyright 2018 SAY Technologies, Inc.

---